

関西経済レポート

輸出の伸びは鈍化傾向にあり、生産は弱含んでいる。消費は、今後、各種政策効果などの反動が現れることが懸念される。住宅投資は、政策効果により持ち直しの動きがみられる。雇用環境は、持ち直しの動きはあるものの、厳しい状況が続く。全体として、回復の動きに足踏み感がみられる。

今後のリスク要因として、引き続き円高や海外経済の動向に対する注視が必要。

2010年11月17日

関経連経済調査部

～目次～

| | |
|------------|----|
| 政府・日銀の景況判断 | 1 |
| 日銀短観 | 2 |
| 設備投資 | 4 |
| 生産、大口電力需要 | 6 |
| 輸出入 | 7 |
| 個人消費 | 13 |
| 住宅投資 | 15 |
| 株価為替の動き | 17 |
| 倒産 | 18 |
| 雇用 | 19 |

～政府・日銀の景気判断～

| | 近畿 近畿地区金融経済概況 日銀大阪支店 | 中部 金融経済月報 日銀名古屋支店 | 全国 金融経済月報 日銀 | 全国 月例経済報告 内閣府 |
|----------|---------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 2009年9月 | ㊦ なお厳しい状況にあるが、下げ止まっている。 | ㊦ 東海3県の景気は、持ち直しつつある。 | ㊦ わが国の景気は持ち直しに転じつつある。 | ⇒ 失業率が過去最高水準となるなど厳しい状況にあるものの、このところ持ち直しの動きがみられる。 |
| 2009年10月 | ㊦ 近畿地域の景気は、雇用面などに厳しさを残しつつも、持ち直しの動きがみられる。 | ⇒ 東海3県の景気は、持ち直しつつある。 | ㊦ わが国の景気は持ち直しつつある。 | ㊦ 景気は、持ち直してきているが、自律性に乏しく、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。 |
| 2009年11月 | ⇒ 近畿地域の景気は、雇用面などに厳しさを残しつつも、持ち直しの動きがみられる。 | ⇒ 東海3県の景気は、持ち直しつつある。 | ㊦ わが国の景気は、国内民間需要の自律的回復力はなお弱いものの、内外における各種対策の効果などから持ち直している。 | ⇒ 景気は、持ち直してきているが、自律性に乏しく、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。 |
| 2009年12月 | ㊦ 近畿地域の景気は、雇用面などに引き続き厳しさを残しつつも、緩やかに持ち直している。 | ㊦ 東海3県の景気は、業種間・企業間の格差が大きいものの、全体としては持ち直している。 | ⇒ わが国の景気は、国内民間需要の自律的回復力はなお弱いものの、内外における各種対策の効果などから持ち直している。 | ⇒ 景気は、持ち直してきているが、自律性に乏しく、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。 |
| 2010年1月 | ⇒ 近畿地域の景気は、雇用面などに引き続き厳しさを残しつつも、緩やかに持ち直している。 | ⇒ 東海3県の景気は、業種間・企業間の格差が大きいものの、全体としては持ち直している。 | ⇒ わが国の景気は、国内民間需要の自律的回復力はなお弱いものの、内外における各種対策の効果などから持ち直している。 | ⇒ 景気は、持ち直してきているが、自律性に乏しく、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。 |
| 2010年2月 | ㊦ 近畿地域の景気は、雇用面などに引き続き厳しさを残しつつも、持ち直している。 | ⇒ 東海3県の景気は、業種間・企業間の格差が大きいものの、全体としては持ち直している。 | ⇒ わが国の景気は、国内民間需要の自律的回復力はなお弱いものの、内外における各種対策の効果などから持ち直している。 | ⇒ 景気は、持ち直してきているが、自律性に乏しく、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。 |
| 2010年3月 | ⇒ 近畿地域の景気は、雇用面などに引き続き厳しさを残しつつも、持ち直している。 | ⇒ 東海3県の景気は、業種間・企業間の格差が大きいものの、全体としては持ち直している。 | ⇒ わが国の景気は、国内民間需要の自律的回復力はなお弱いものの、内外における各種対策の効果などから持ち直している。 | ㊦ 景気は、着実に持ち直してきているが、なお自律性は弱く、失業率が高水準にあるなど厳しい状況にある。 |
| 2010年4月 | ㊦ 近畿地域の景気は、雇用面などに厳しさを残しつつも、着実に持ち直している。 | ㊦ 東海3県の景気は、持ち直しを続けており、業種間・企業間の格差も徐々に縮小している。 | ㊦ わが国の景気は、国内民間需要の自律的回復力はなお弱いものの、海外経済の改善や各種対策の効果などから、持ち直しを続けている。 | ⇒ 景気は、着実に持ち直してきているが、なお自律性は弱く、失業率が高水準にあるなど厳しい状況にある。 |
| 2010年5月 | ⇒ 近畿地域の景気は、雇用面などに厳しさを残しつつも、着実に持ち直している。 | ⇒ 東海3県の景気は、持ち直しを続けており、業種間・企業間の格差も徐々に縮小している。 | ㊦ わが国の景気は、海外経済の改善を起点として、緩やかに回復しつつある。 | ⇒ 景気は、着実に持ち直してきているが、なお自律性は弱く、失業率が高水準にあるなど厳しい状況にある。 |
| 2010年6月 | ⇒ 近畿地域の景気は、雇用面などに厳しさを残しつつも、着実に持ち直している。 | ㊦ 東海3県の景気は、生産の増勢が足もと一服しているが、全体としては持ち直しを続けている。 | ⇒ わが国の景気は、海外経済の改善を起点として、緩やかに回復しつつある。 | ㊦ 景気は、着実に持ち直してきており、自律的回復への基盤が整いつつあるが、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。 |
| 2010年7月 | ㊦ 近畿地域の景気は、雇用面などに厳しさを残しつつも、緩やかに回復している。 | ㊦ 東海3県の景気は、生産の増勢が一時的に鈍化したものの、その後は再び増勢が戻りつつあり、全体として持ち直しを続けている。 | ⇒ わが国の景気は、海外経済の改善を起点として、緩やかに回復しつつある。 | ⇒ 景気は、着実に持ち直してきており、自律的回復への基盤が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。 |
| 2010年8月 | ⇒ 近畿地域の景気は、雇用面などに厳しさを残しつつも、緩やかに回復している。 | ⇒ 東海3県の景気は、持ち直しを続けている。 | ⇒ わが国の景気は、海外経済の改善を起点として、緩やかに回復しつつある。 | ⇒ 景気は、着実に持ち直してきており、自律的回復への基盤が整いつつあるが、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。 |
| 2010年9月 | ⇒ 近畿地域の景気は、雇用面などに厳しさを残しつつも、緩やかに回復している。 | ⇒ 東海3県の景気は、持ち直しを続けている。 | ⇒ わが国の景気は、海外経済の改善を起点として、緩やかに回復しつつある。 | ㊦ 景気は、引き続き持ち直してきており、自律的回復に向けた動きもみられるが、このところ環境の厳しさは増している。また、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。 |
| 2010年10月 | ⇒ 近畿地域の景気は、雇用面などに厳しさを残しつつも、緩やかに回復している。 | ㊦ 東海3県の景気は、持ち直しを続けてきたが、ここにきて急速に減速しているようになっているがわかる。 | ㊦ わが国の景気は、緩やかに回復しつつあるものの、改善の動きが弱まっている。 | ㊦ 景気は、このところ足踏み状態となっている。また、失業率が高水準にあるなど厳しい状況にある。 |

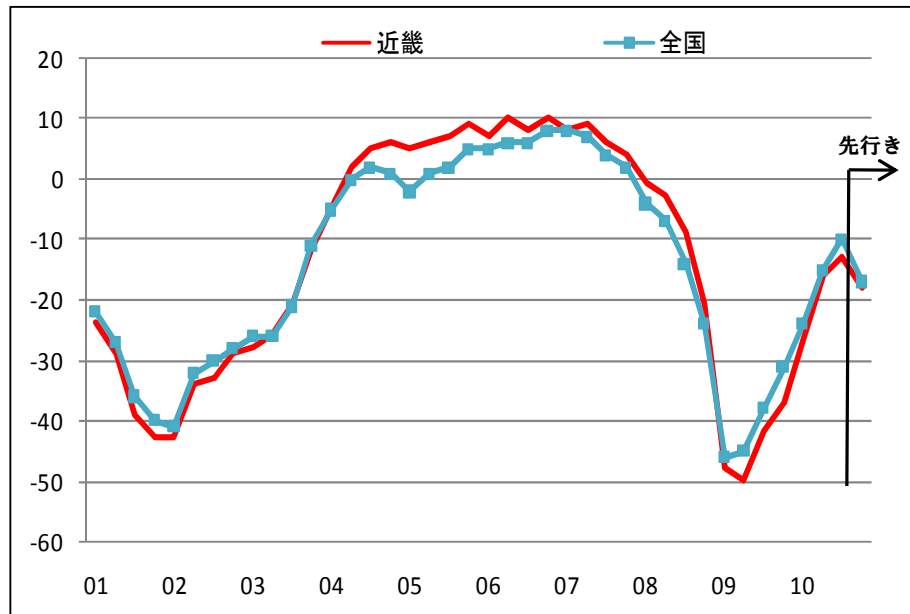
○日銀大阪支店は10月の景況判断を

「**近畿地域の景気は、雇用面などに厳しさを残しつつも、緩やかに回復している。**」とした。（9月から継続）

「すなわち、輸出は、アジア向けを中心に増加を続けているが、その伸びはやや鈍化している。生産も、輸出の増加や省エネ家電への政策支援を背景に増加しているが、そのテンポは鈍化している。企業の景況感、製造業を中心に改善の動きが続いている。設備投資は、企業収益の改善が続く中、持ち直しつつある。」とした。

～日銀短観～

業況判断DI（「良い」－「悪い」、2010年9月結果まで）



○近畿の業況判断DI（2010年9月結果まで）

- ・近畿の業況判断DIの9月結果は全産業▲13と、6月調査(▲16)から+3ポイント、5四半期連続の改善。
6月調査時予測(▲16)を上回ったが、改善幅は縮小。
- ・近畿の先行き見通しは▲18と、悪化の見込み。
- ・全国は、全産業▲10と、6月調査(▲15)から+5ポイント、6四半期連続の改善。
近畿と同様、6月調査時予測(▲16)を上回った。
- ・全国の先行き見通しは▲17と、悪化の見込み。

規模・業種別内訳(2010年9月結果まで)

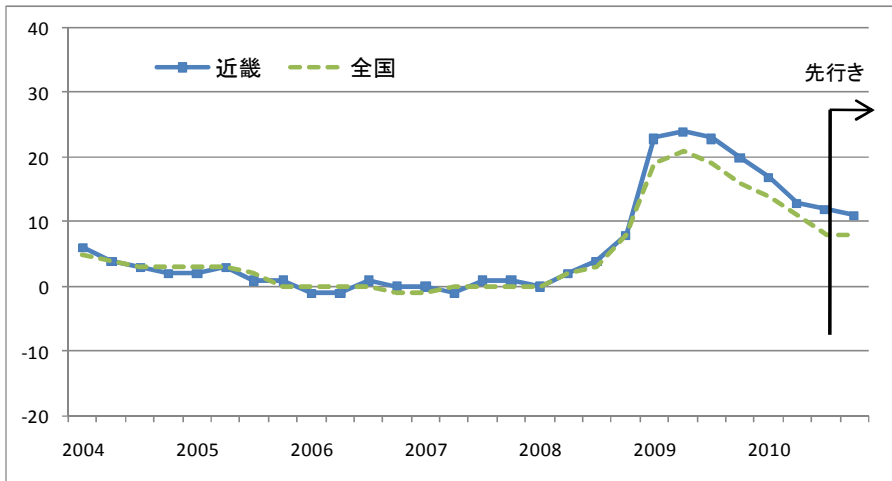
| 近畿 | | | |
|------|-------------|------------------------|------------|
| | 2010年 6月 | 9月 ()内は前回調査時 予測 | 先行き 12月 |
| 全産業 | ▲16 | ▲13 (▲16) | ▲18 |
| 大企業 | ▲6 | 1 (0) | ▲3 |
| 中小企業 | ▲27 | ▲24 (▲27) | ▲28 |
| 製造業 | ▲10 | ▲8 (▲11) | ▲14 |
| 大企業 | 1 | 5 (2) | ▲1 |
| 中小企業 | ▲24 | ▲21 (▲22) | ▲26 |
| 非製造業 | ▲21 | ▲17 (▲21) | ▲21 |
| 大企業 | ▲16 | ▲4 (▲5) | ▲6 |
| 中小企業 | ▲29 | ▲28 (▲30) | ▲29 |
| 全国 | | | |
| | 2010年 6月 | 9月 ()内は前回調査時 予測 | 先行き 12月 |
| 全産業 | ▲15 | ▲10 (▲16) | ▲17 |
| 大企業 | ▲2 | 5 0 | ▲2 |
| 中小企業 | ▲23 | ▲18 (▲25) | ▲27 |
| 製造業 | ▲10 | ▲4 (▲10) | ▲13 |
| 大企業 | 1 | 8 (3) | ▲1 |
| 中小企業 | ▲18 | ▲14 (▲19) | ▲22 |
| 非製造業 | ▲19 | ▲13 (▲20) | ▲21 |
| 大企業 | ▲5 | 2 (▲4) | ▲2 |
| 中小企業 | ▲26 | ▲21 (▲29) | ▲29 |

○近畿の規模別・業種別業況判断DI（2010年9月結果まで）

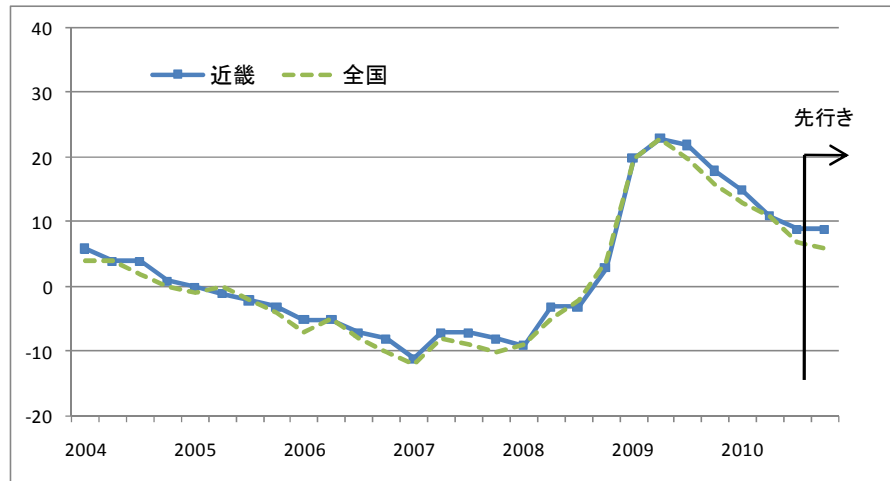
- ・足下、6月調査時から、製造業が+2ポイント、非製造業が+4ポイントの改善。
全産業・全規模で6月調査時予測を上回った。
- ・規模別では、中小企業は大企業に比べ足下・先行きとも厳しい見方が続く。

～日銀短観～

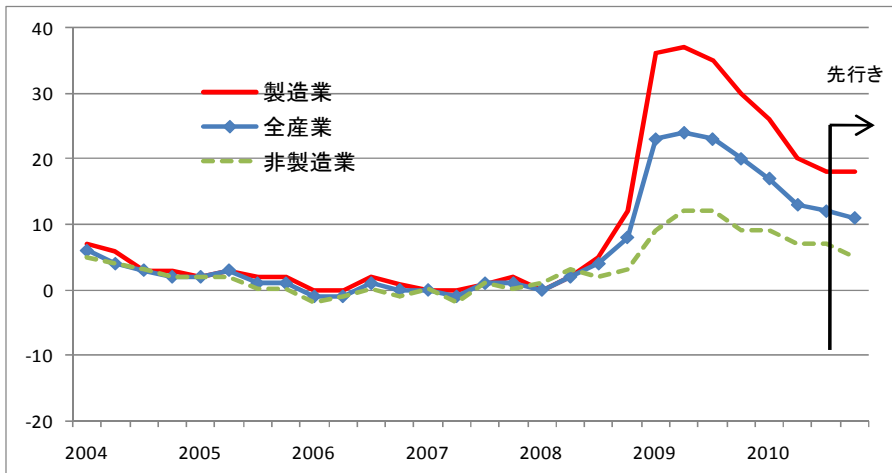
生産・営業用設備判断DI (「過剰」-「不足」)



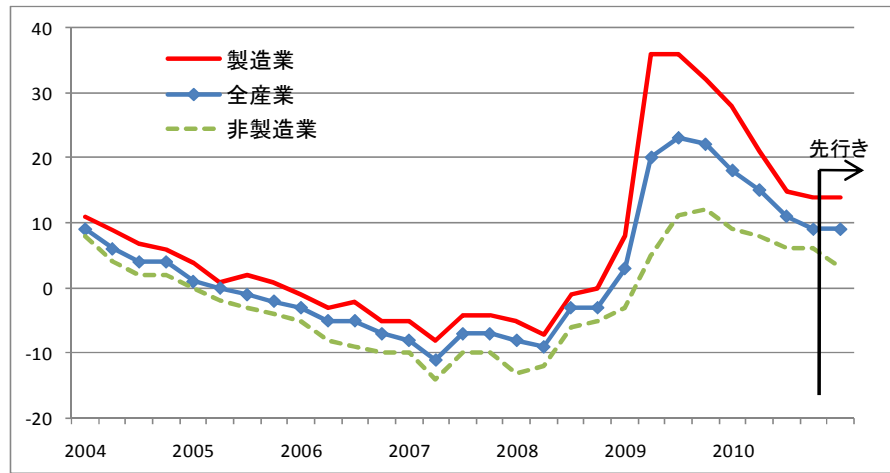
雇用人員判断DI (「過剰」 - 「不足」)



生産・営業用設備判断DI 近畿・業種別



雇用人員判断DI 近畿・業種別

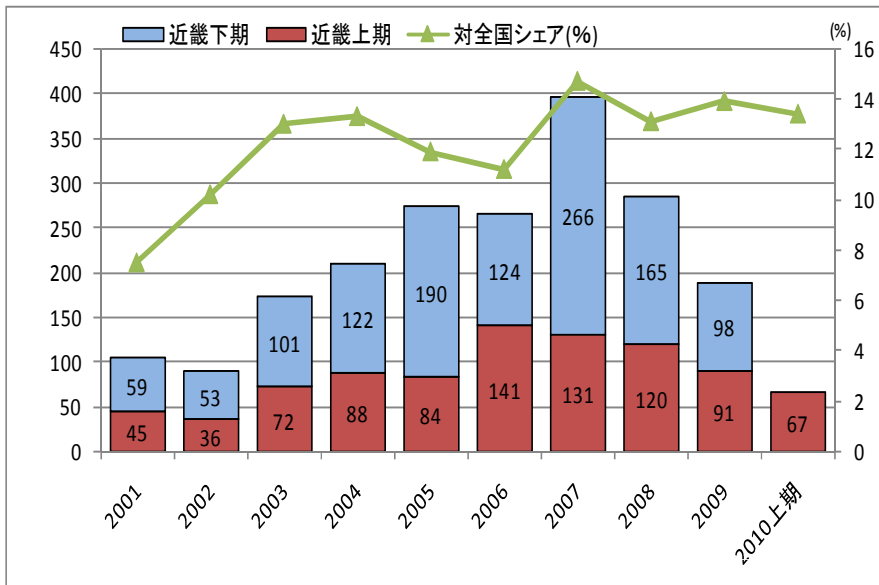


○9月の日銀短観によると、近畿の足下の設備判断DI(過剰-不足)は、全産業12、製造業18、非製造業7。非製造業のみ前回から横ばいであるが、他は前回調査時から改善。引き続き製造業で過剰感が高い。
先行きは、非製造業で改善、製造業で横ばいの見込み。

○9月の日銀短観によると、近畿の足下の雇用人員判断DI(過剰-不足)は、全産業9、製造業14、非製造業6と、非製造業のみ前回から横ばいであるが、他は前回調査時から改善。設備同様、製造業で過剰感が高い。
先行きは、非製造業で改善、製造業で横ばいの見込み。

～近畿の工場立地動向～

近畿の工場立地件数の推移(2010年上期まで)



2010年上期(1月～6月)の近畿の工場立地について

○2010年上期の近畿の工場立地件数は59件、前年同期比▲26.3%、2期連続の減少。(全国は前年同期比▲17.8%の減少)

○研究開発機能を付設する予定の工場は22件で、近畿全体の立地件数に占める割合は37.3%と、全国の25.6%を上回り、調査開始以降最大となった。

○臨海部を中心に好立地の用地がほぼ埋まっていることから、工業団地への立地が大幅に減少。工業団地への立地は17件、近畿全体の立地件数に占める割合は28.8%と、前年同期の37.5%から減少した。

○工場敷地面積は67.0ha、前年同期▲26.0%の減少。
1件当たりの平均敷地面積は1.1ha(全国ベースでは1.4ha)であり、3千㎡未満の小規模立地の割合が全体の33.9%(全国ベースでは31.3%)と、小規模立地の割合が多くなっている。

府県別動向

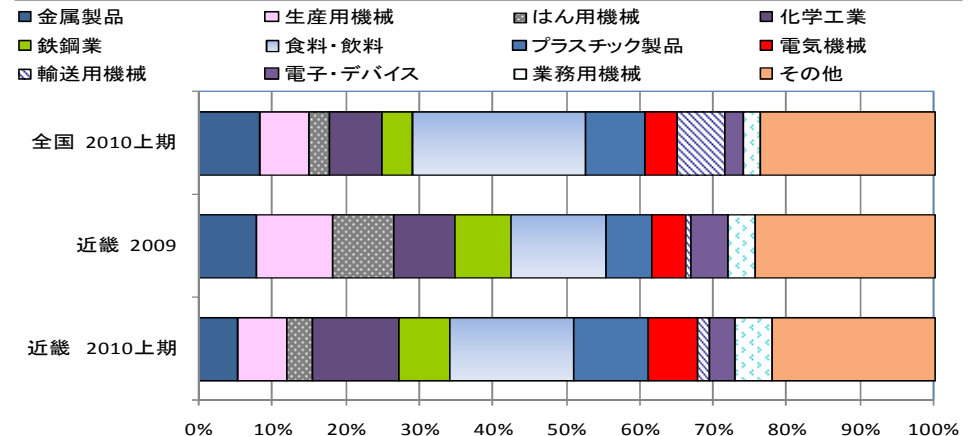
| 府県 | 件数 | 前年同期比 | 面積(ha) | 前年同期比 |
|-----|----|-------|--------|--------|
| 兵庫 | 20 | ▲13件 | 17.9 | ▲50.9% |
| 滋賀 | 10 | +1件 | 18.3 | +0.01% |
| 奈良 | 10 | ▲1件 | 7.6 | +76.7% |
| 大阪 | 7 | 増減なし | 9.1 | +21.3% |
| 和歌山 | 5 | ▲1件 | 8.0 | +0.1% |
| 京都 | 5 | 増減なし | 5.0 | +47% |
| 福井 | 2 | ▲7件 | 1.0 | ▲92.7% |

○府県別件数では、兵庫県の20件が、管内第1位であるが、前年同期の33件(全国1位)からは大きく減少し、全国では4位に後退。

府県別立地面積では、滋賀県が1位。

○福井県が、件数・面積とも大幅に減少。

業種別動向



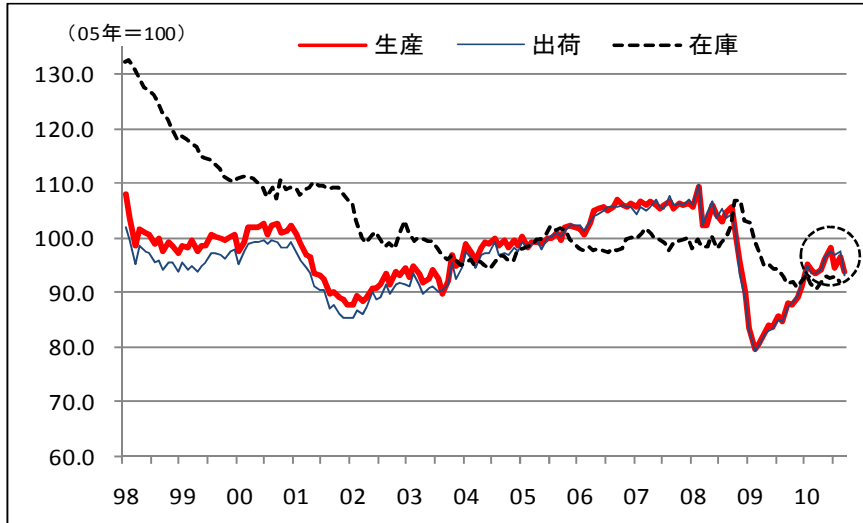
○業種別では、飲料・食料の10件が最も多い。以下、化学工業7件、プラスチック製品6件、非鉄金属5件が続く。

○全国と比べて輸送用機械の割合が少なく、化学工業の割合が多い。

(出所)近畿経済産業局 近畿地区工場立地動向調査

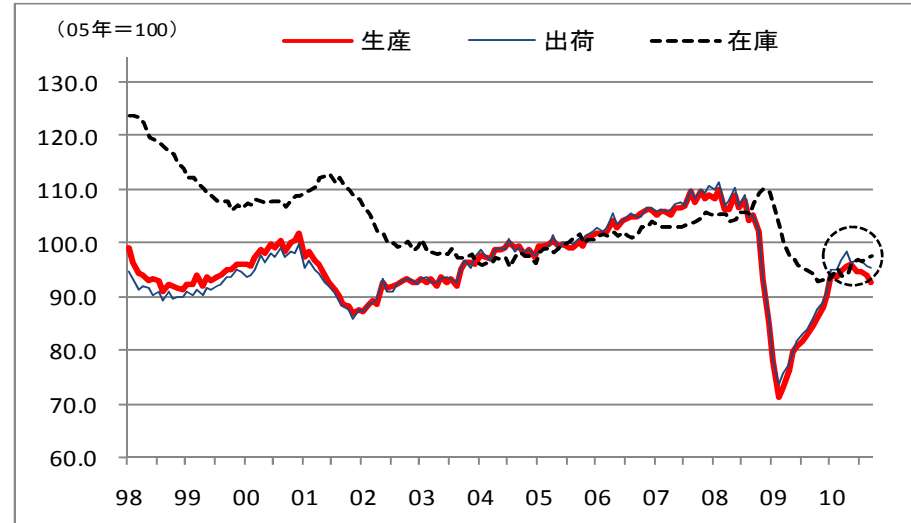
～生産～

鉱工業指数の推移（近畿 2010年9月速報まで）



(出所) 近畿経済産業局

鉱工業指数の推移（全国 2010年9月確報まで）



(出所) 経済産業省

業種別鉱工業
生産指数
(前月比、%)

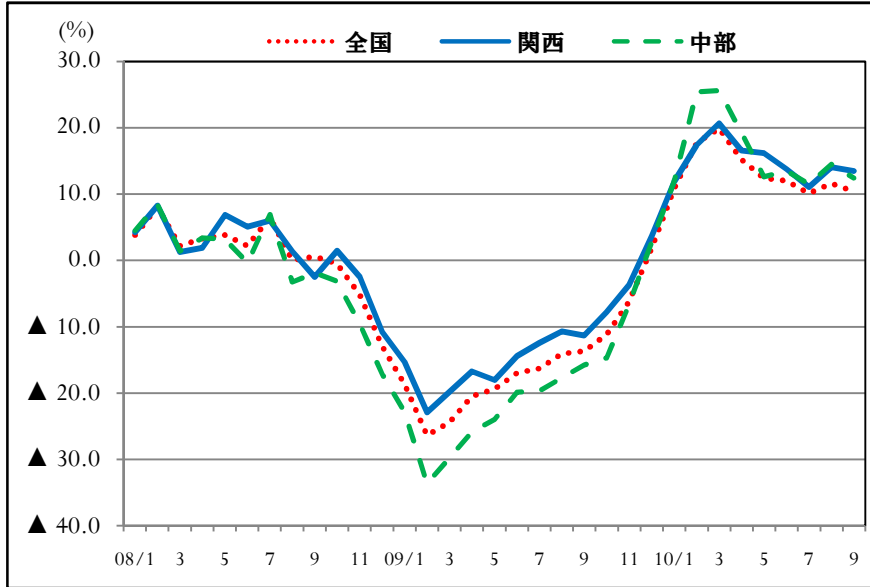
*網掛は、生産が
前月比プラスの業種

| | 全体 | 鉄鋼 | 金属製品 | 一般機械 | 電気機械 | 情報通信 機械 | 電子部品 デバイス | 輸送機械 | 化学 | 食料品 たばこ |
|------|------|------|------|-------|------|------------|--------------|------|------|------------|
| 近畿6月 | 2.1 | ▲4.7 | ▲4.0 | 28.7 | ▲1.5 | ▲3.2 | ▲6.0 | ▲4.0 | ▲3.8 | 2.1 |
| 近畿7月 | ▲3.8 | ▲4.5 | ▲1.9 | ▲19.5 | ▲2.6 | ▲3.0 | 2.9 | 6.9 | 0.2 | 0.9 |
| 近畿8月 | 2.1 | ▲5.5 | 1.8 | 13.5 | 4.1 | ▲0.7 | ▲5.3 | ▲7.1 | 2.9 | ▲0.9 |
| 近畿9月 | ▲2.8 | 3.3 | ▲7.5 | ▲0.6 | ▲4.2 | ▲14.0 | 4.2 | ▲4.3 | 2.3 | 1.2 |
| 全国9月 | ▲1.6 | 0.1 | ▲2.6 | ▲1.3 | ▲2.5 | 6.6 | ▲4.9 | ▲3.8 | ▲2.4 | 3.8 |

- ・ 近畿の9月（速報）の鉱工業生産指数は、93.9。前月比▲2.8%と2カ月ぶりに低下。
出荷は前月比▲4.3%の93.3と、2カ月ぶりに低下。在庫は、前月比▲1.0%の92.0と、2カ月ぶりに低下。
 生産低下に寄与したのは、金属製品工業、情報通信機械工業、電気機械工業等。
 品目別にみると、一般用蒸気タービン、薄型テレビ、橋りょうの順に低下に寄与。総じてみれば、生産は弱含み傾向。
- ・ 全国の9月（確報）の鉱工業生産指数は、92.8。前月比▲1.6%と4カ月連続の低下。
出荷は、前月比▲0.5%の95.2と3カ月連続の低下。在庫は、前月比+0.1%の97.6。
 業種別では、輸送機械工業、電子部品・デバイス工業、化学工業等が低下。上昇したのは、食料品・たばこ工業、情報通信機械工業、等。品目別にみると、普通乗用車、小型乗用車、モス型半導体集積回路等が低下に寄与。
 製造工業生産予測調査によると、10月は低下、11月は上昇を予測。

～生産～

産業用大口電力需要（対前年伸び率・2010年9月まで）



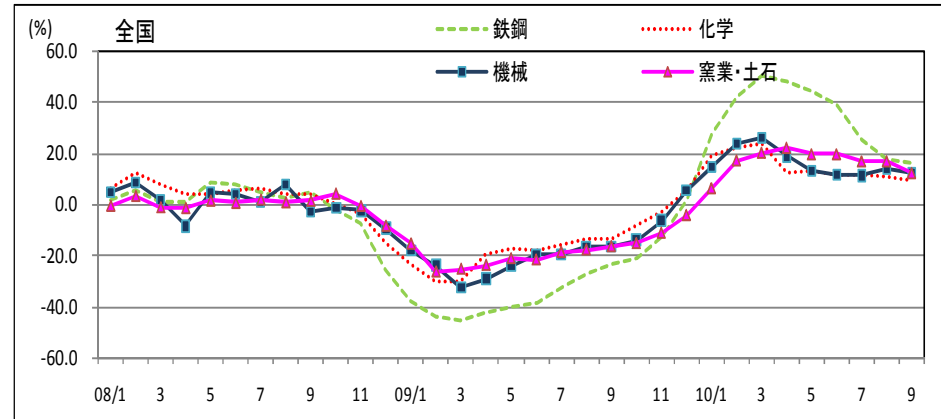
(出所) 電気事業連合会

・9月の関西の大口電力実績は、前年同月比+13.5%と、10カ月連続で前年実績を上回った。

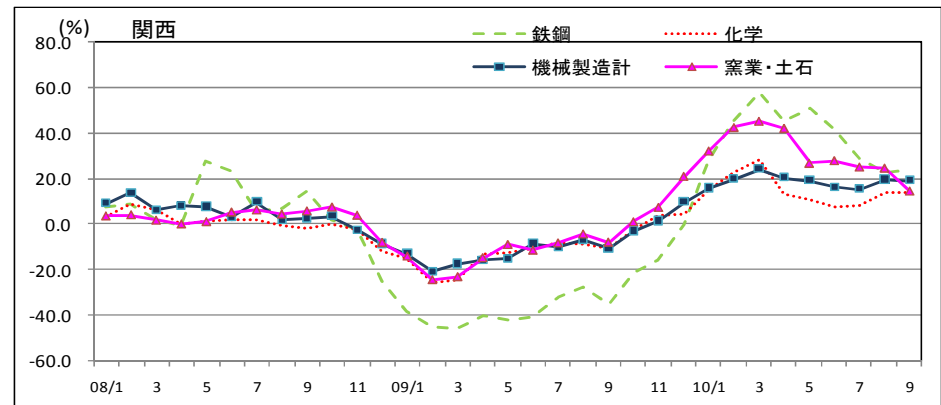
全国は+10.4%で、10カ月連続で前年実績を上回った。

・業種別(関西)では、製造業10業種中9業種で対前年比プラス。

大口電力産業別実績（対前年伸び率 2010年9月まで）



(出所) 電気事業連合会



(出所) 関西電力

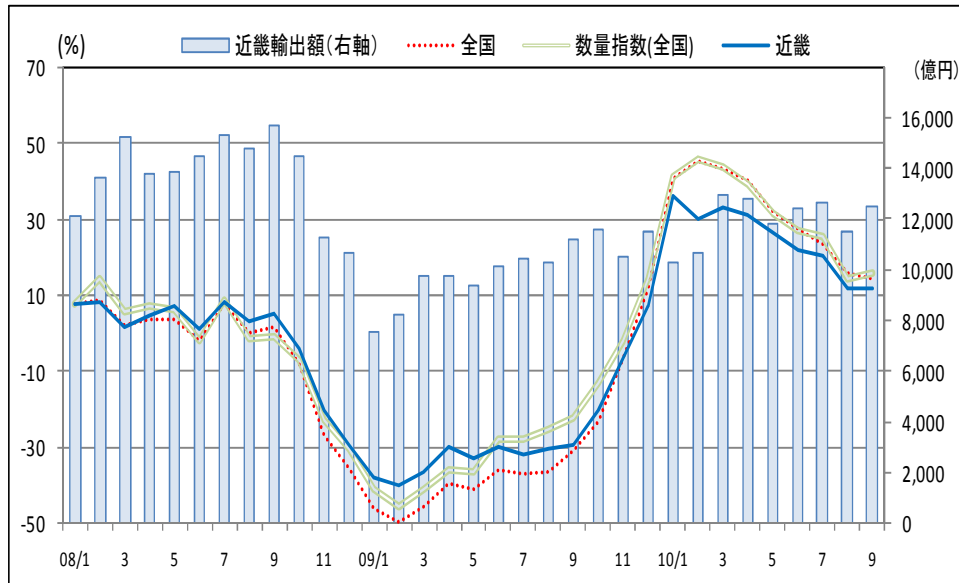
大口電力産業別実績（対前年伸び率 2010年9月まで・関西）

| | 食料品 | 繊維 | パルプ・紙 | 化学 | 石油・石炭 | ゴム製品 | 窯業・土石 | 鉄鋼 | 非鉄金属 | 機械製造計 |
|----|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|------|-------|
| 5月 | ▲ 2.1 | 18.7 | 5.8 | 10.3 | 16.8 | 19.1 | 26.7 | 50.9 | 4.6 | 19.1 |
| 6月 | 1.2 | 11.0 | 5.2 | 7.6 | 56.9 | 17.6 | 27.9 | 41.3 | 1.2 | 16.3 |
| 7月 | 2.4 | 11.3 | 4.4 | 8.2 | 8.2 | 10.6 | 25.1 | 28.9 | 4.9 | 15.5 |
| 8月 | 9.2 | 21.6 | 18.0 | 13.7 | 15.3 | 16.1 | 24.6 | 22.8 | 7.0 | 19.5 |
| 9月 | 9.1 | 21.5 | 6.3 | 13.6 | ▲ 4.8 | 12.4 | 14.6 | 23.9 | 11.5 | 19.3 |

*網掛は、伸び率が前年比プラスの業種

～輸出～

輸出金額・前年同月比増減率推移 (2010年9月速報まで)

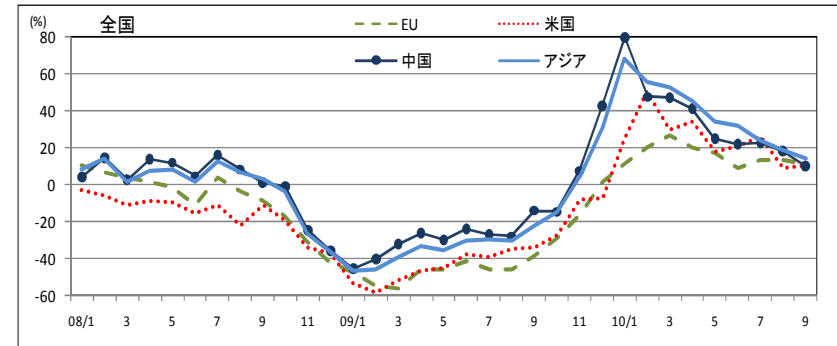
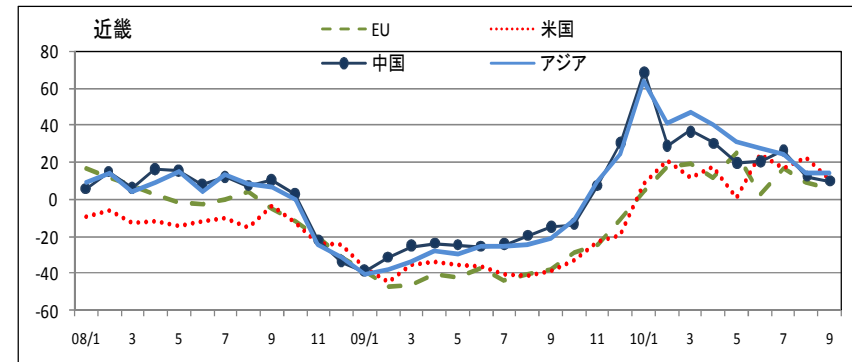


出所：財務省税関(全国)、大阪税関(近畿) 資料

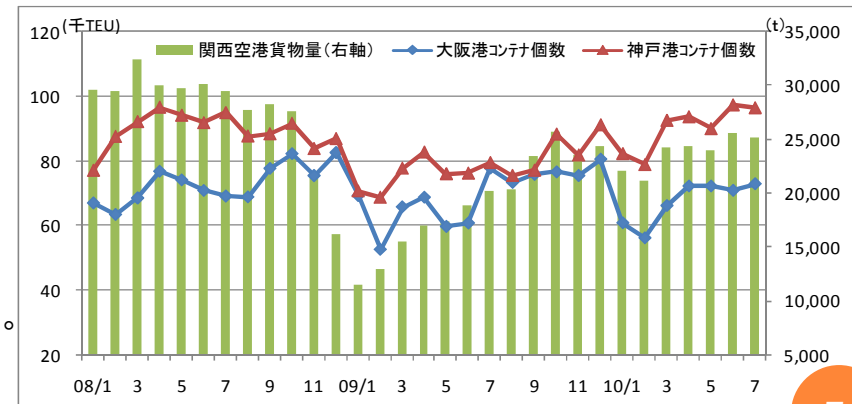
○近畿の月次の輸出動向 (2010年9月速報まで)

- ・ 9月の近畿の輸出額は1兆2,527億円、前年同月比+12.1%と10カ月連続の前年比プラス。プラス幅は前月から横ばい。
- ・ 地域別では、アジアが前年同月比+13.5%、うち中国が同+9.9%と、ともに11カ月連続のプラスであるが、プラス幅は縮小。 EUは同+5.7%、米国は同+11.0%と、ともに9カ月連続のプラス。
- ・ 品目別では、建設用・鉱山用機械、半導体等電子部品、半導体等製造装置、等が増加に寄与。中国向けエキスカベーター、中国向け集積回路、等で著増。
- ・ 数量を表す貿易指数(全国9月)は前年比+16.1%と、10カ月連続プラス。
- ・ 関空の貨物量は09年1月を底に、大阪港・神戸港の貨物量は09年2月を底に、回復傾向。

地域別輸出金額・前年同月比推移



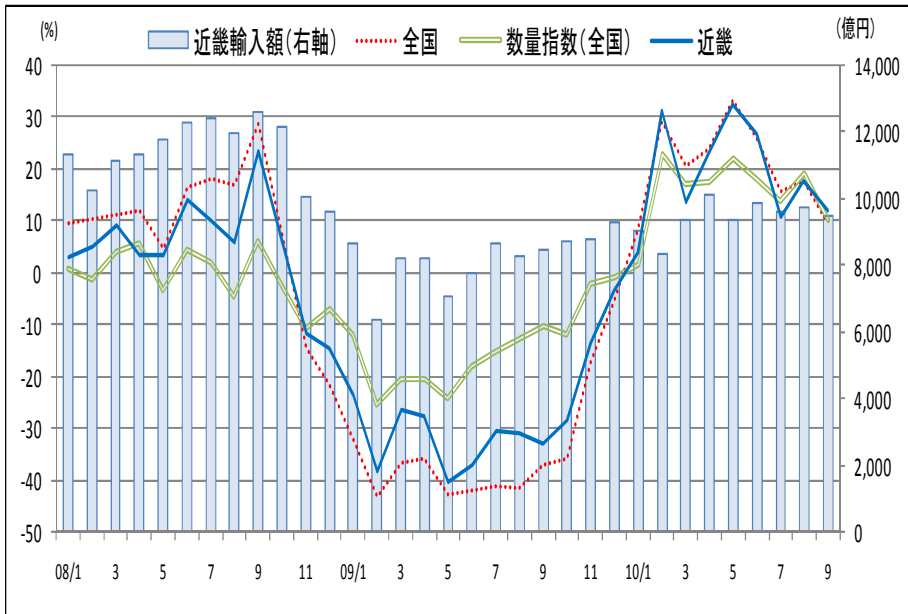
近畿・港別貨物取扱量 (輸出)



出所：大阪市、神戸市、関西国際空港㈱ 資料

～輸入～

輸入金額・前年同月比増減率推移（2010年9月速報まで）

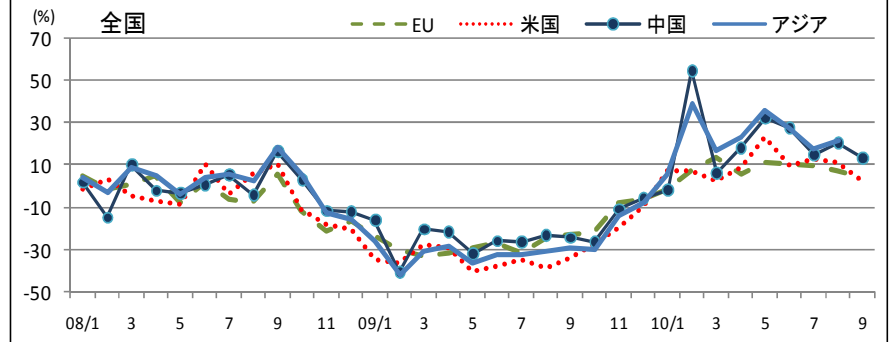
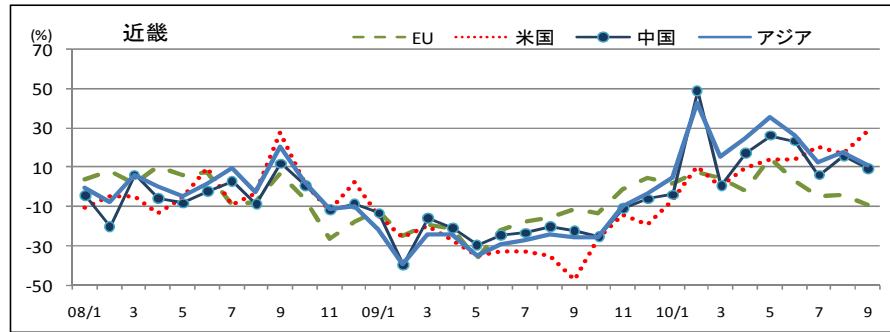


出所：財務省税関(全国)、大阪税関(近畿) 資料

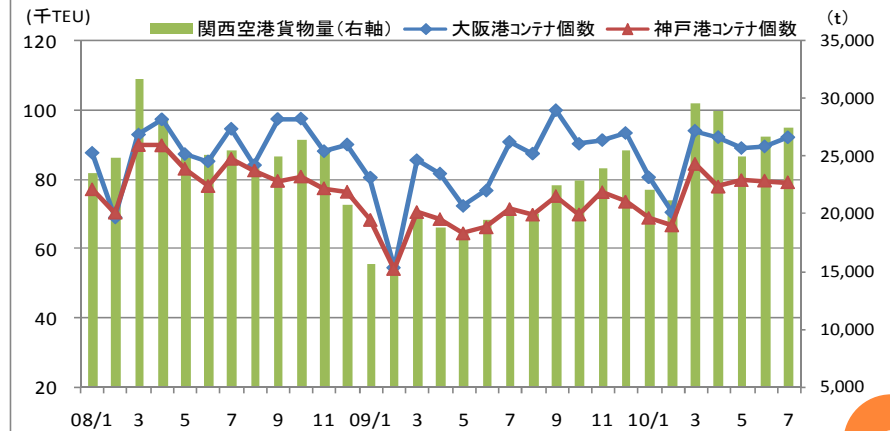
○近畿の月次の輸入動向（2010年9月速報まで）

- ・ 9月の近畿の輸入額は9,491億円、前年同月比+12.2%と、9カ月連続のプラス。プラス幅は前月より縮小。
- ・ 地域別では、アジアが前年同月比+10.9%と9カ連続のプラス。アジアのうち中国が同+9.9%、米国が同+28.2%と、ともに8カ月連続のプラス。EUが同▲9.0%と3カ月連続のマイナス。
- ・ 品目別では、天然ガス及び製造ガス、医薬品、音響・映像機器(含部品)、石炭、等が増加に寄与。
- ・ 数量を表す貿易指数(全国9月)は、前年同月比+10.4%と、9カ月連続のプラス。
- ・ 関空の貨物量は09年1月を底に、大阪港・神戸港の貨物量は09年2月を底に、回復傾向。

地域別輸入金額増減前年同月比推移



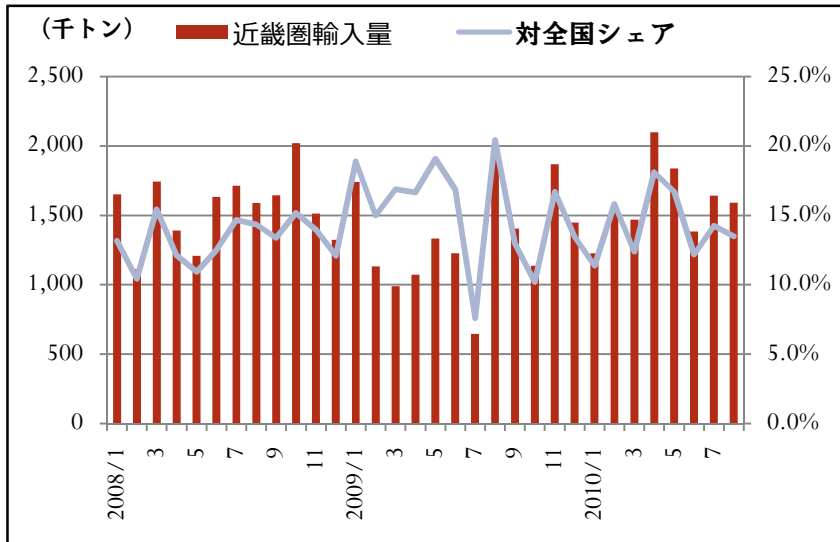
近畿・港別貨物取扱量（輸入）



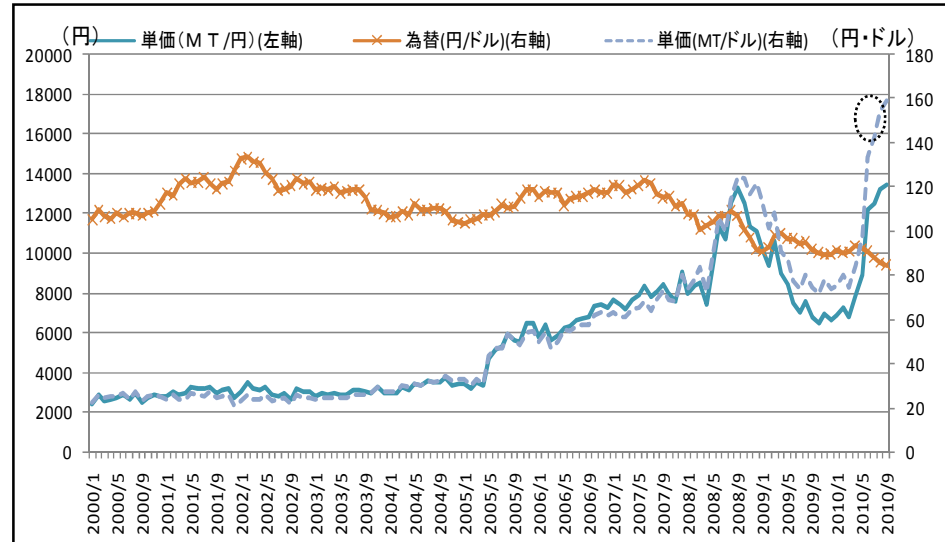
出所：大阪市、神戸市、関西国際空港(株) 資料

関西経済トピックス～鉄鉱石の輸入動向～

鉄鉱石の輸入量の推移(近畿)



鉄鉱石価格の推移(近畿)



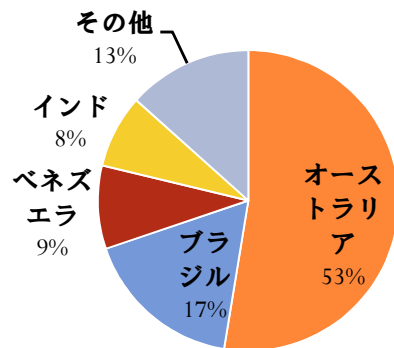
○9月の近畿の鉄鉱石輸入量は1,267,450トン、前年同月比▲10.0%。対全国シェアは12.6%。
 輸入額は169億8,600万円、前年同月比+178.2%。
 ○(ご参考) 2009～2010年の近畿圏の鉄鉱石輸入は、和歌山税関支署、東播磨出張所管内のみで行われている。

○2010年春より価格が急激に上昇し、過去最高の水準となった。
 ○主としてドル建て価格で取引されているため、今後、円高が是正されれば、更に企業の負担が増す恐れがある。

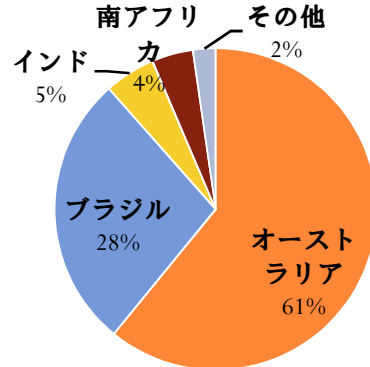
出所:財務省、大阪税関貿易統計

注:鉄鉱石単価は、輸入金額/輸入数量で算出
 出所:財務省貿易統計、日本銀行外国為替相場

近畿の鉄鉱石輸入先(2009年)



全国の鉄鉱石輸入先(2009年)

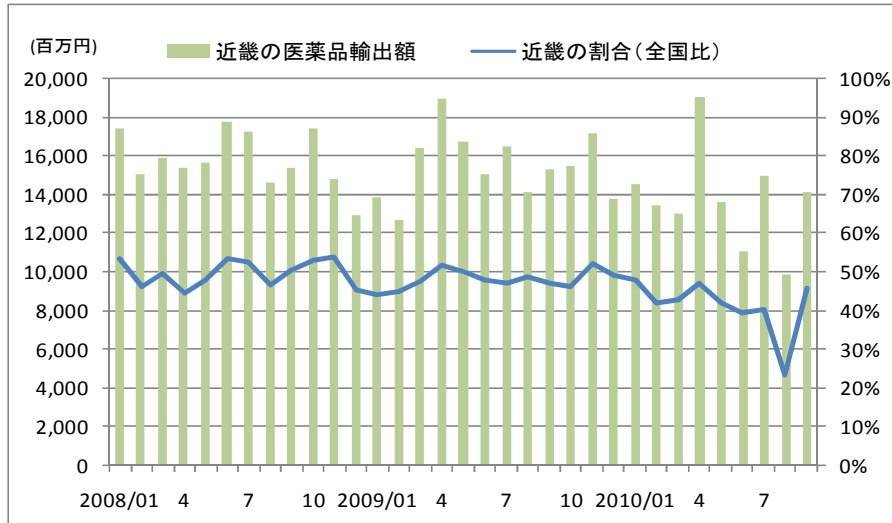


・世界の鉄鉱石市場は近年寡占化が進んでいる。世界の鉄鉱石海上貿易は、上位3社で70%を占めている
 ・国内ではオーストラリア、ブラジルから約90%を輸入している。
 ・近畿では、全国ほど寡占化されていないが、約70%を2ヶ国が占めている。

出所:財務省貿易統計、日本鉄鋼連盟資料

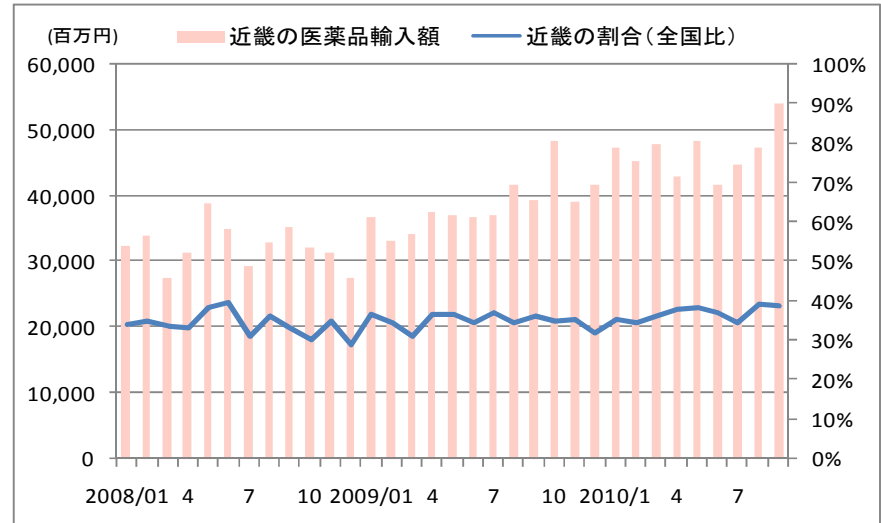
～医薬品の輸出入動向～

近畿の医薬品輸出額の推移



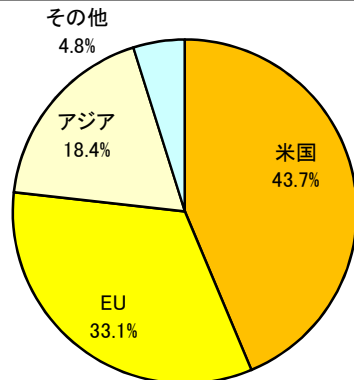
- 近畿の医薬品輸出額は、月により変動はあるが堅調な動きを続けている。9月の輸出額は141億円、前年同月比▲7.4%と4カ月連続のマイナスではあるものの、前月より増加。2009年、年間の輸出額は1,853億円、前年比▲1.9%。
- 9月の近畿の医薬品輸出額は、全国の46.0%と高い割合を占めている。

近畿の医薬品輸入額の推移

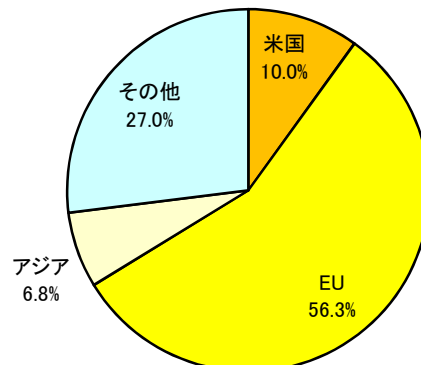


- 近畿の医薬品輸入額は、引き続き増加基調にある。9月の輸入額は541億円、前年同月比+37.6%の増加。2009年、年間の輸入額は4,631億円(前年比+19.2%)と、過去最高額。
- 9月の近畿の医薬品輸入額は、全国の38.8%と高い割合を占めている。

近畿圏の医薬品輸出先 (2009年)



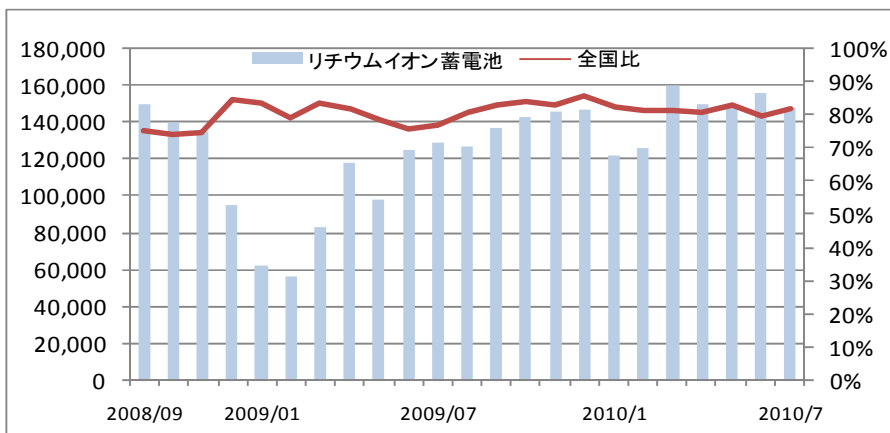
近畿圏の医薬品輸入先 (2009年)



- 近畿圏の医薬品は、輸出入とも全国に占める割合は高い。
- 輸出入先は、欧米の占める割合が高い。輸出先は、米国が43.7%、EUが33.1%を占める。輸入先は、米国が10.0%、EUが56.3%を占める。

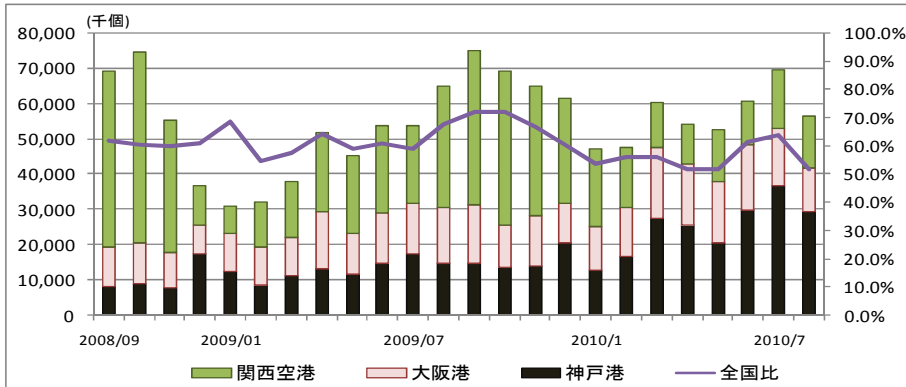
～電池産業の生産拠点集積～

リチウムイオン蓄電池 生産量の推移(近畿)



出所：経済産業省、近畿経済産業局 資料

リチウムイオン電池(蓄電池) 輸出の推移(大阪港、関西空港、神戸港)

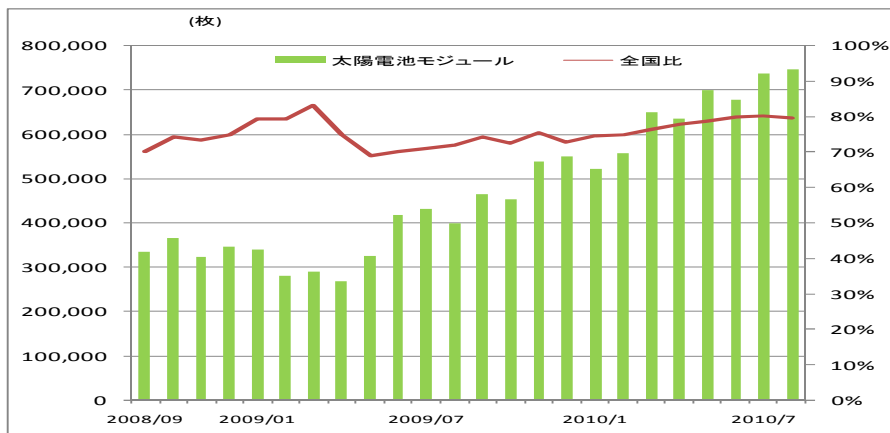


出所：財務省、大阪税関 資料

○近畿のリチウムイオン蓄電池の生産は、09年に入り落ち込んだが、足下回復基調が続く。2010年8月の生産量は、前年の反動もあり前年同月比+4.7%増加。全国に占める割合も高く、8月は、81.9%。

○近畿のリチウムイオン電池の輸出は、09年に入り落ち込んだ後回復。ピーク時の水準を伺う勢いであったが、9月の輸出量は、前年同月比▲8.1%とマイナスに。全国に占める割合は依然高く、9月は、64.6%。

太陽電池モジュール 生産量の推移(近畿)

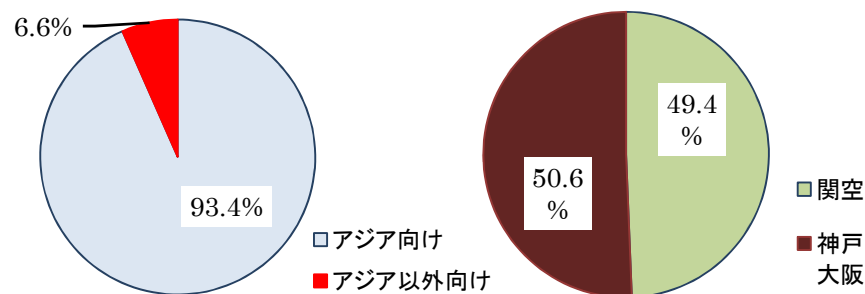


出所：経済産業省、近畿経済産業局 資料

○近畿の太陽電池モジュールの生産枚数は、09年に入り、減少したものの、政策の後押しもあり、足下、増加傾向が続く。2010年8月は、745,112枚、前年同月比+87.8%と大幅に増加。

○全国に占める割合が70～80%台と高く、8月は79.6%。

2009年リチウムイオン電池 輸出先(大阪港、関西空港、神戸港) 及び、輸出港



○アジア向け輸出が93.4%を占めた。

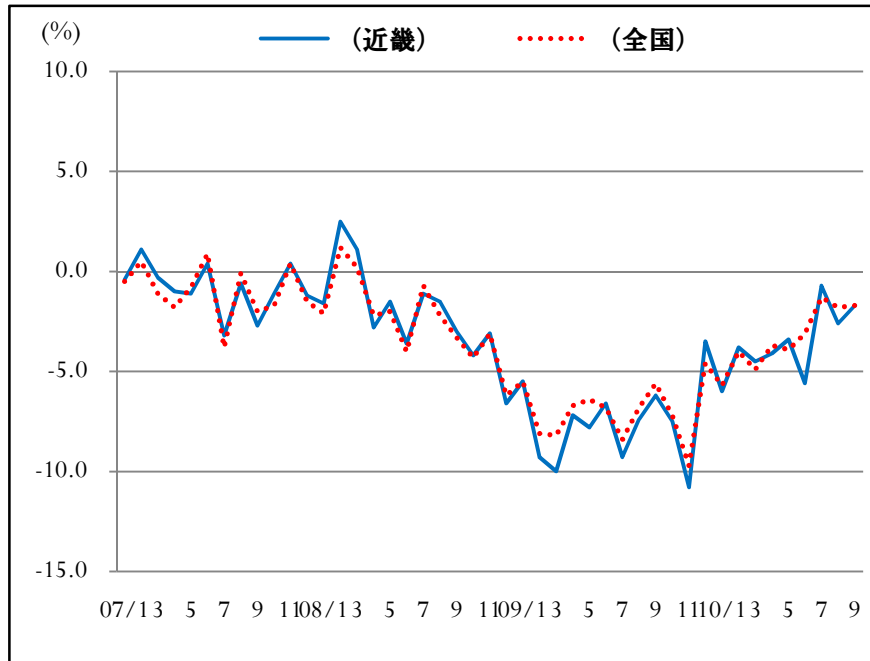
出所：財務省、大阪税関 資料

中国が56.2%と最も多く、韓国12.1%、香港9.2%と続く。

○輸出港は、大阪+神戸港50.7%、関西空港49.4%とほぼ同じ。

～個人消費～

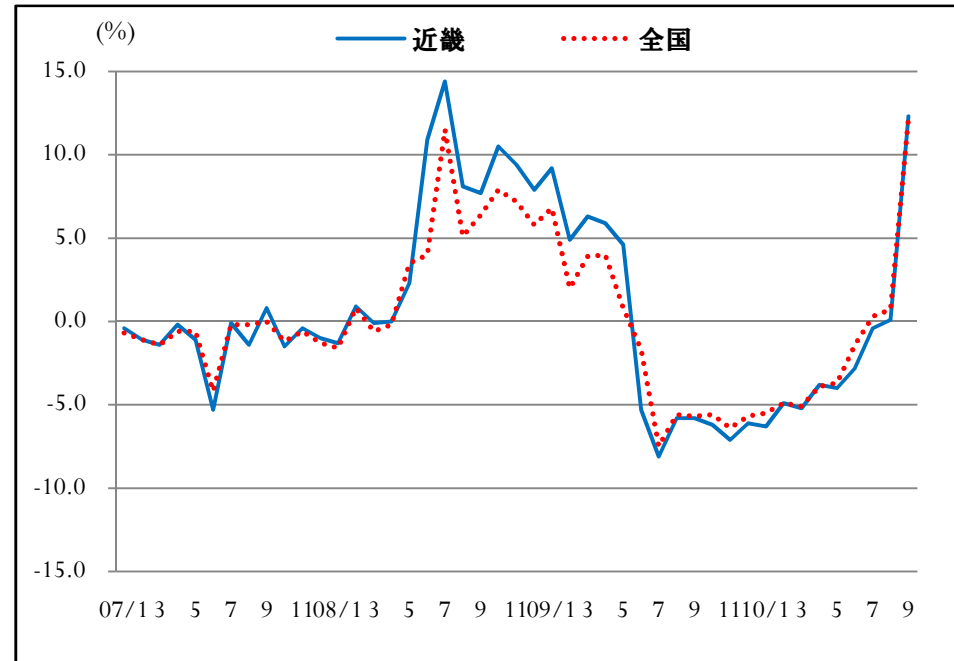
大型小売店売上高（前年同月比・2010年9月まで）



(出所) 近畿経済産業局

- ・ 近畿の9月の大型小売店(百貨店+スーパー)の販売額(既存店ベース)は、前年同月比▲1.7%と30カ月連続のマイナス。前月(▲2.6%)からマイナス幅が縮小。
- ・ 百貨店が7月に29カ月ぶりのプラスに転じたが、9月は同▲4.6%と2カ月連続のマイナス。
スーパーは+0.1%と22カ月ぶりのプラス。
- ・ 全国の大型小売店販売額は、同▲1.9%と、29カ月連続のマイナス。

コンビニエンスストア販売額（前年同月比・2010年9月まで）

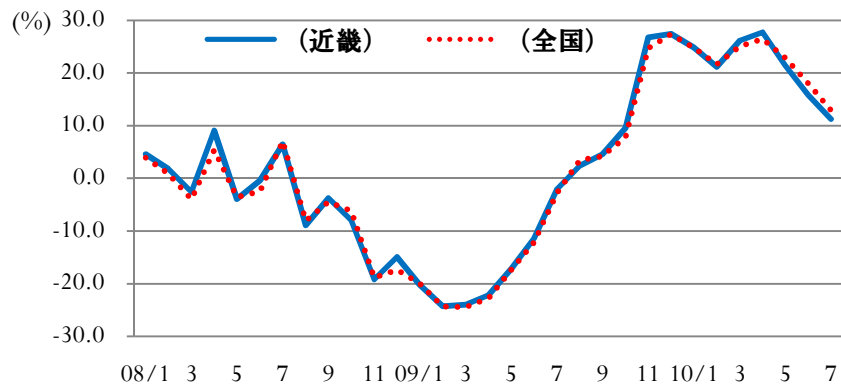


(出所) 近畿経済産業局

- ・ 近畿の9月のコンビニエンスストア販売額(既存店ベース)は、前年同月比+12.3%と2カ月連続のプラス。
- ・ 全国は同+12.2%と、3カ月連続のプラス。
記録的な残暑の影響から、夏物商品が好調であった他、増税前の駆け込み需要によりたばこが大幅増加。

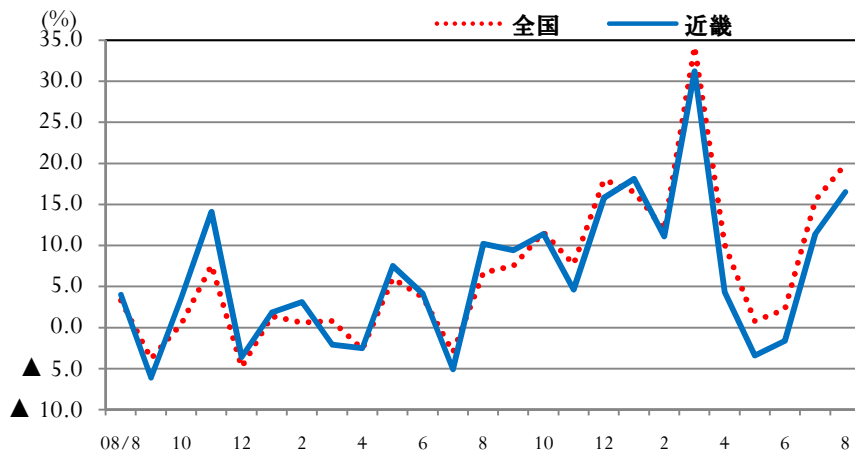
～個人消費～

新車登録台数（前年同月比・2010年8月まで）



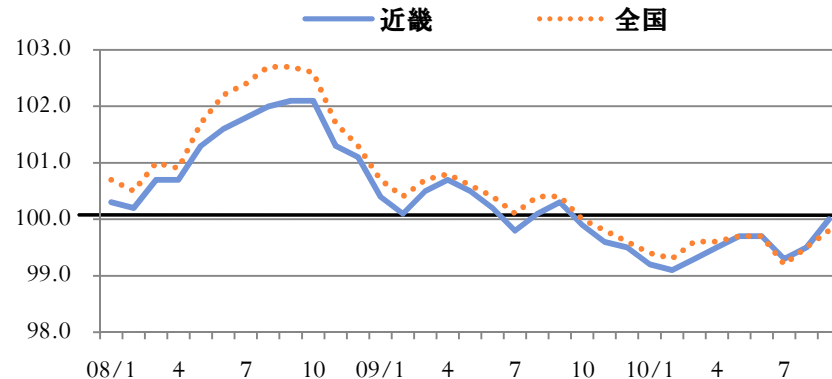
- ・近畿の8月の新車登録台数は、前年同月比+41.1%。車種別では普通車+44.1%、小型車+53.4%、軽四車+22.0%。
(出所) 近畿経済産業局

家電販売額（前年同月比・2010年8月まで）



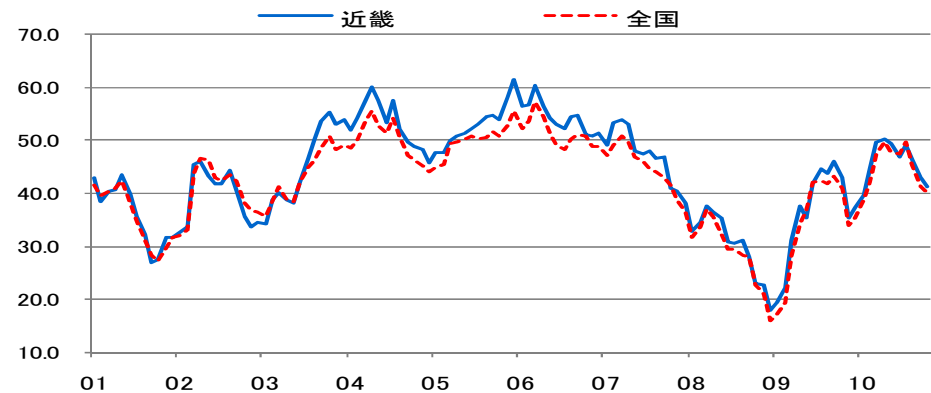
- ・近畿の8月の家電販売額は、前年同月比+16.5%と、2カ月連続の前年比プラス。デジタルカメラ(▲18.7%)等が前年を下回ったが、エアコン(+94.0%)、冷蔵庫(+24.5%)、パソコン本体(+11.4%)が前年を上回った。
(出所) 近畿経済産業局

消費者物価指数（総合指数・2010年9月まで）



- ・近畿の9月の消費者物価指数(総合指数)は、前月から+0.5%の100.0と、2か月連続の上昇。前年同月比では▲0.3%の低下。食料(酒を除く)及びエネルギーを除く総合指数は97.4で、前月比+0.2%、前年同月比▲1.1%。
(出所) 総務省

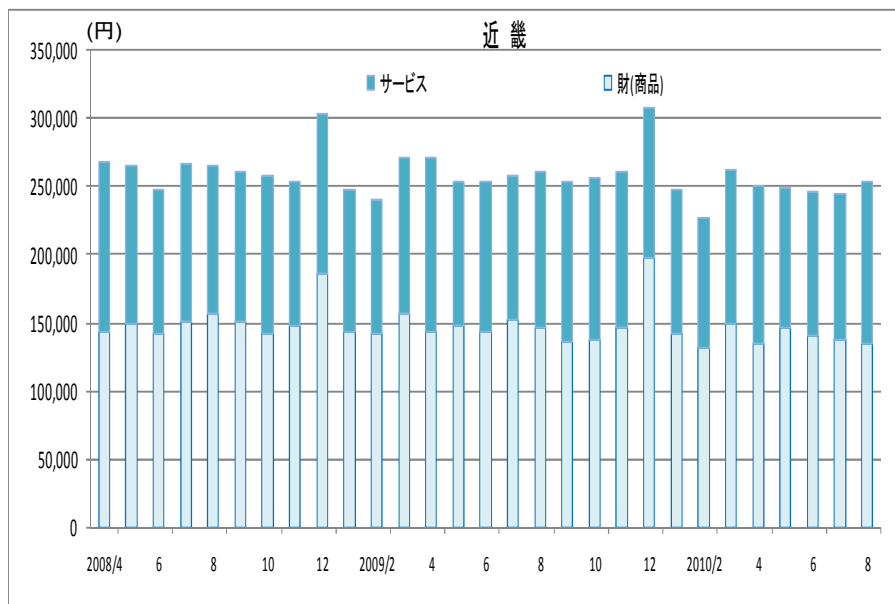
景気ウォッチャー調査(現状判断DI・方向性 2010年10月まで)



- ・10月の近畿の現状判断DIは41.2で、前月比▲1.6ポイント、3カ月連続で低下。全国は前月比▲1.0ポイントの40.2。
- ・家電エコポイントの駆け込み需要が見られるものの、前月までのたばこ、エコカーの駆け込み需要の反動等で低下。企業動向関連DIは、円高による輸出環境の悪化等から低下。
- ・近畿の先行き判断DIは44.5、前月比+0.3ポイント。

【参考—個人消費 家計調査から】

財・サービス区分別支出の推移(近畿)



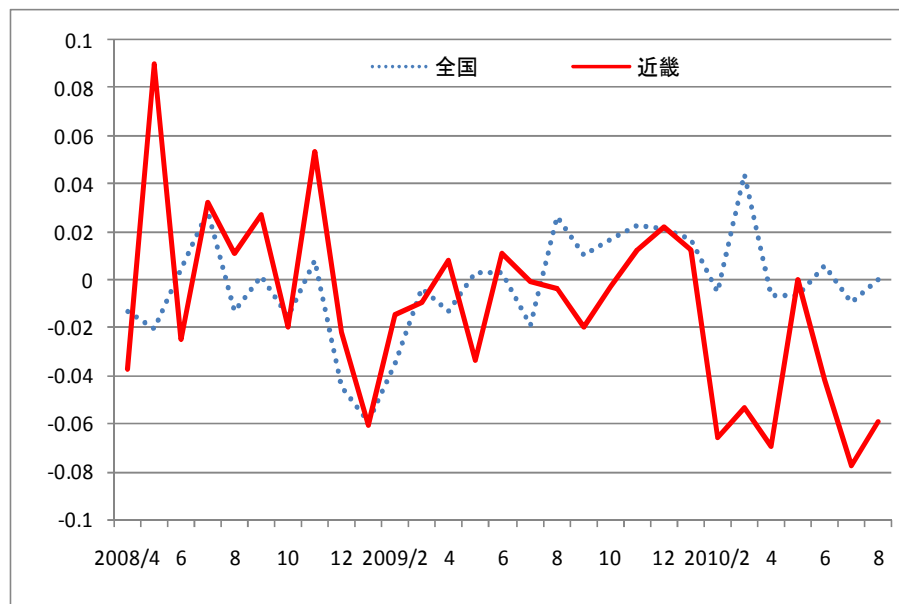
出所:総務省家計調査

○家計調査によると、近畿の2010年8月の財・サービス区分別支出は、252,927円、前年同月比(名目)▲2.7%。前月(同▲5.3%)からマイナス幅は縮小。

○内訳は、財(商品)が135,448円、前年同月比▲7.9%、サービスが117,479円、同+3.9%。財は、前月からマイナス幅が縮小。サービスは2カ月連続の前年同月比プラス。
財の内訳は、耐久消費財13779円、半耐久消費財17,485円、非耐久消費財104,185円。

○なお、全国の2010年8月の財・サービス区分別支出は245,949円、前年同月比▲4.4%。財(商品)が140,086円、サービスは、105,863円。

消費支出 対前年同月実質増減率の推移(全国・近畿)



出所:総務省家計調査

○近畿の2010年8月の消費支出の、対前年同月実質増減率は▲6.0%、7ヶ連続のマイナス。前月(同▲7.8%)からマイナス幅は若干縮小。

内訳は、教養娯楽▲42.6%、交通・通信▲24.6%、等がマイナス。プラスだったのは、家具・家事用品+19.5%、光熱水道+12.1%等。

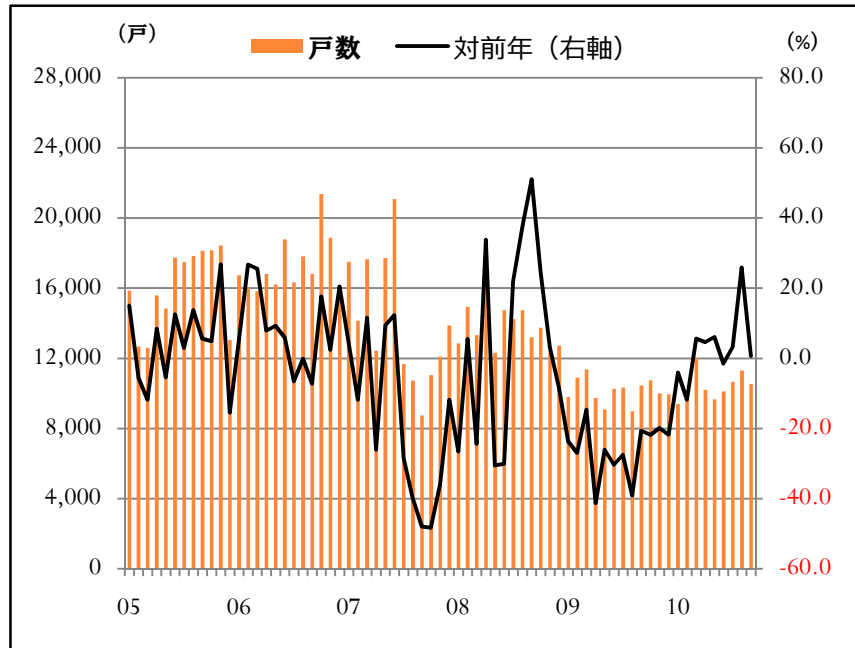
○全国は、前年同月比増減なし。

内訳は、住居+17.8%、光熱・水道+11.0%、等がプラス。マイナスだったのは、保健医療▲7.3%、教養娯楽▲2.7%等。

* 近畿の対前年同月実質増減率比は、総務省資料に基づき当会にて計算。

～住宅投資～

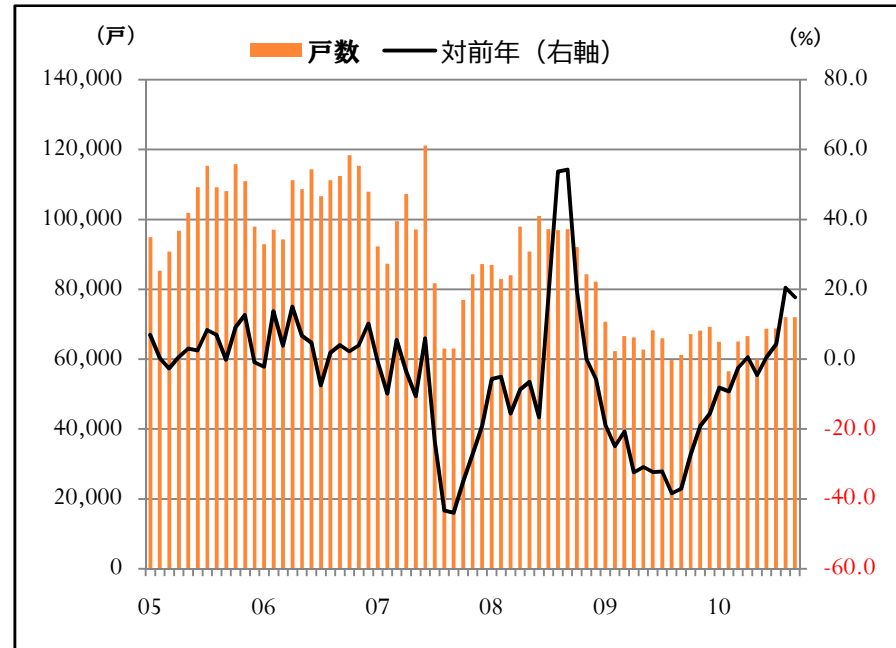
新規住宅着工戸数（近畿・2010年9月まで）



(出所) 国土交通省資料

- ・ 9月の近畿の新設住宅着工件数は10,532戸、前年同月比+0.6%。3カ月連続のプラス。プラス幅は縮小。
- ・ 利用関係別の対前年同月比を見ると、持家が+6.2%、貸家が+6.6%と、それぞれ2カ月連続のプラス。分譲は+0.6%。分譲のうち、マンションが+4.6%と4カ月連続のプラスとなっている。一戸建て住宅が▲3.0%と、10カ月ぶりにマイナスに転じた。

新規住宅着工戸数（全国・2010年9月まで）

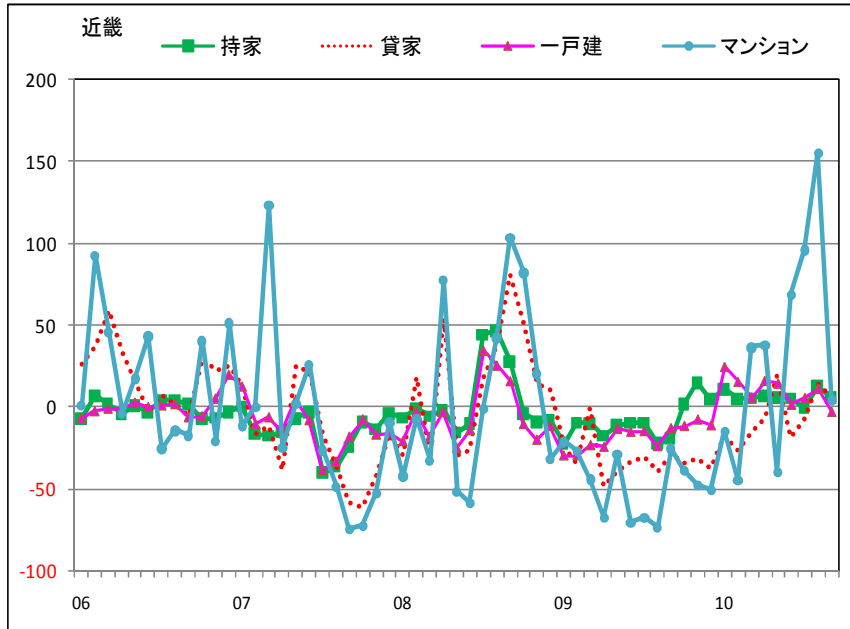


(出所) 国土交通省資料

- ・ 9月の全国の新設住宅着工件数は71,998戸、前年同月比+17.7%と4カ月連続のプラス。
- ・ 利用関係別に見ると、持家+12.9%、貸家+2.2%、分譲+58.9%。分譲のうち、マンションが+124.8%と大幅に増加。一戸建て住宅が+20.5%。持家が11カ月連続、貸家が2カ月連続、マンションが4カ月連続、一戸建てが9カ月連続でそれぞれ増加。

住宅投資～近畿圏のマンション動向～

利用関係別 新規住宅着工戸数 前年同月比(近畿・2010年9月まで)

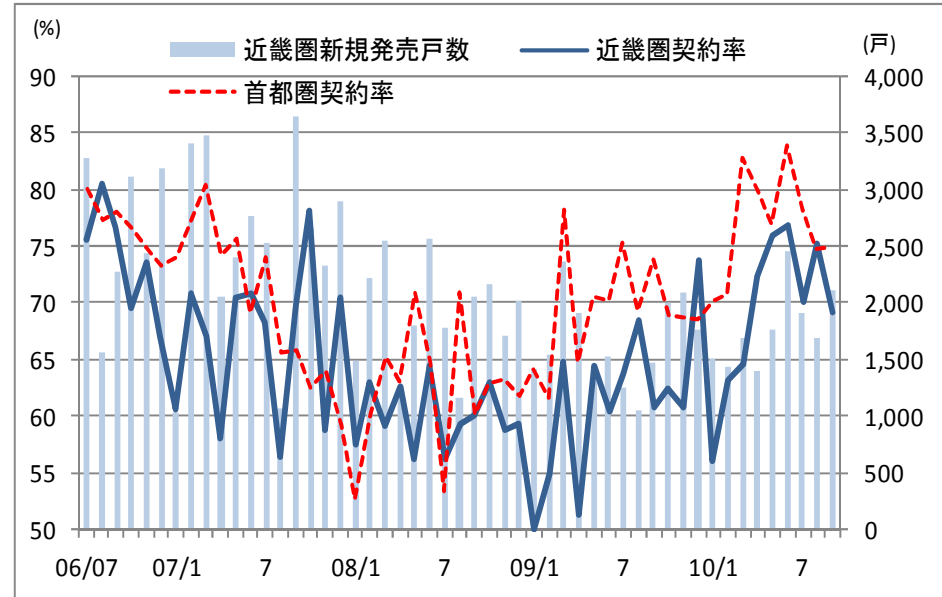


出所:国土交通省

- ・持家は、06年度は4,000戸前後で推移していたが、07年7月頃から2,500戸前後に減少。一旦持ち直したものの08年後半から再び2,000戸台に減少。足下は、政策の効果もあり、6月から3000戸台に回復。9月も2カ月連続前年比プラスとなり、持ち直しの動きが見られる。
- ・分譲のうち一戸建ては、足下、10カ月ぶりにマイナスに転じたが、政策の効果もあり、水準は低い、持ち直しの動きが見られる。
- ・分譲のうち、マンションの新規着工戸数は09年6-8月の3ヶ月間、1,000戸を割り、大きく落ち込んだ。09年3-4月に一旦回復したものの再び落ち込んでいたが、足下9月の新規着工戸数は1,795戸、4カ月連続の前年比プラス。

・引き続き、住宅版エコポイント等の経済対策の効果期待される。

マンション契約率及び新規発売戸数(2010年9月まで)

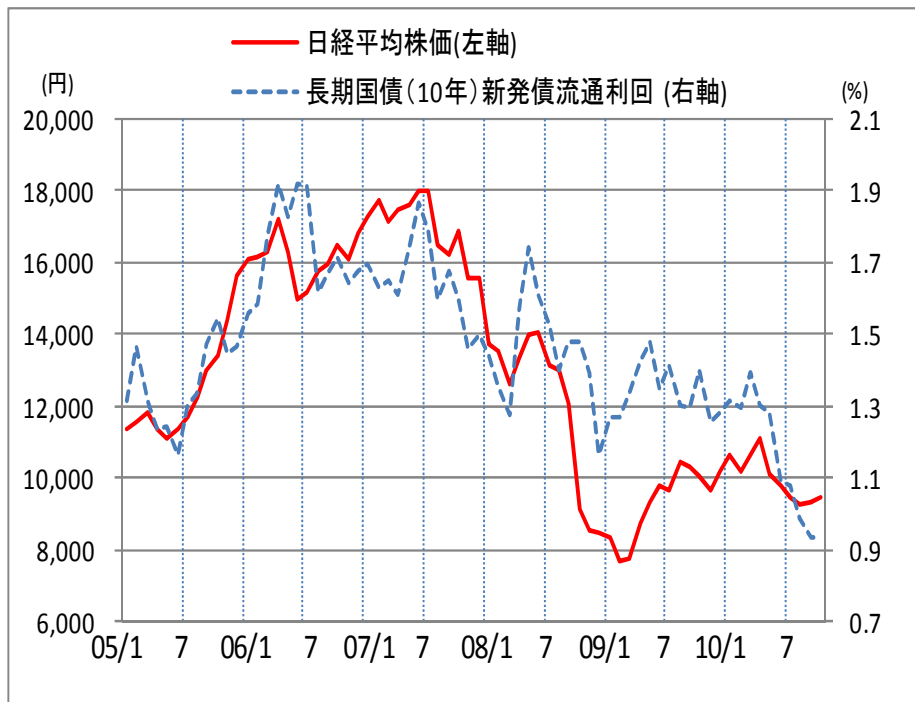


出所:不動産経済研究所資料

- ・近畿圏のマンション契約率は、09年に入り大きく落ち込み、50%台が続いたが、10年4月-8月は、5カ月連続で好不調の目安とされる70%を上回った。足下9月の契約率は、69.2%。
- ・販売在庫は高水準ではあるものの、減少傾向が続いていたが、足下9月は10カ月ぶりに微増。9月末の在庫は3,893戸、前月末比83戸の増加。
- ・首都圏は、価格が下がっていること、人口の流入が続いていることもあり、近畿と比べると契約率は高い傾向にある。

～株式・長期金利～

日経平均株価(期中平均)・長期国債新発債流通利回(月末)
(2010年10月まで)

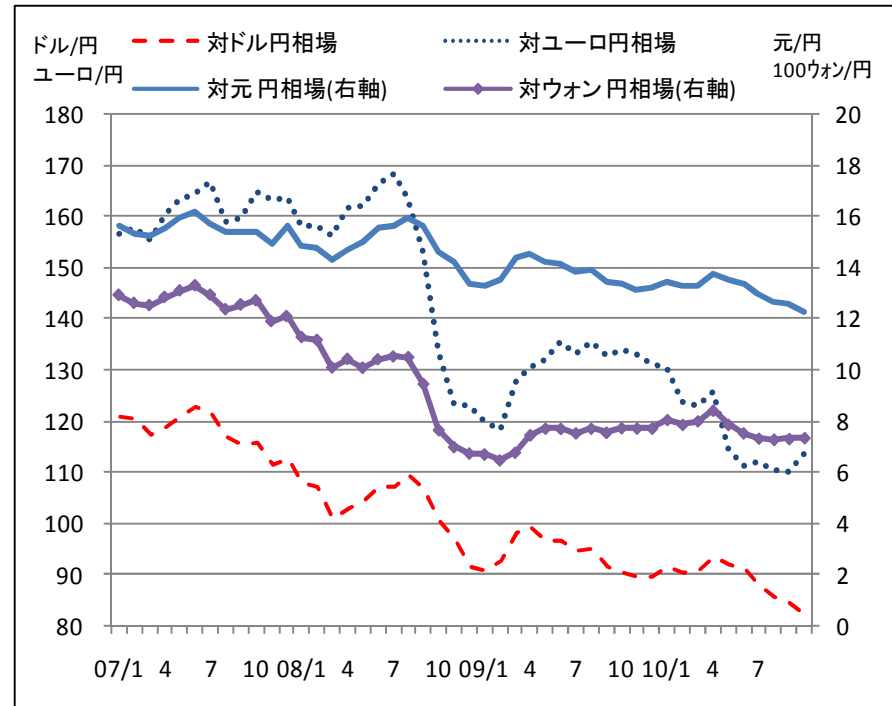


(出所) 日本経済新聞社

- ・10月の日経平均株価(期中平均)は 9455.09 円で、9月より108.3円の上昇。
- ・10月末の長期国債(10年)新発債流通利回りは、年率0.937%、9月末からは横ばい。

～為替相場～

為替相場の動き(期中平均値・2010年10月まで)

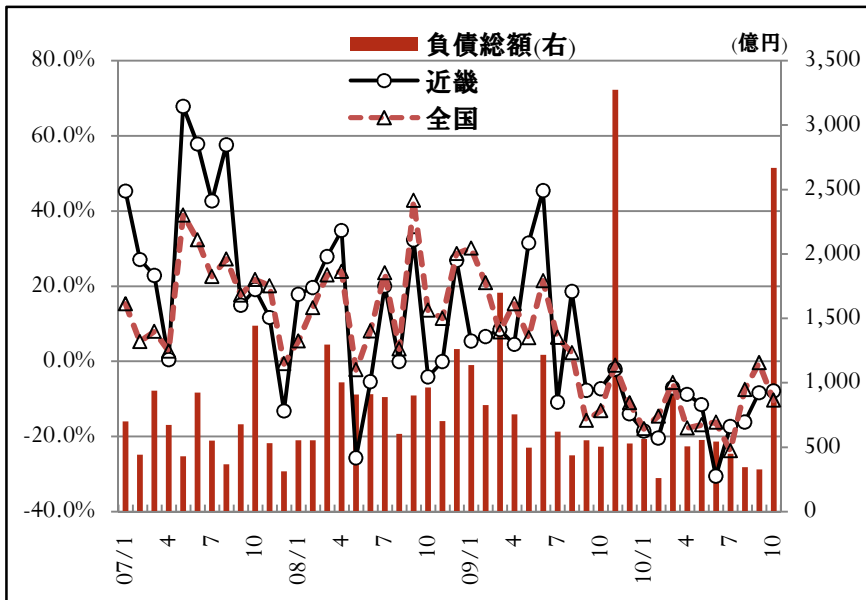


(出所) 日本経済新聞社、三菱UFJリサーチ&コンサルティング

- ・10月の対ドル円相場(期中平均)は81.93円で、9月より2.52円の円高。
- ・対ユーロ円相場は113.71円で、9月より3.72円の円安。
- ・対元円相場は12.21円で、9月より0.3円の円高。
- ・対ウォン円相場(100ウォンにつき円)は7.31円で、9月より0.04円の円安。

～倒産～

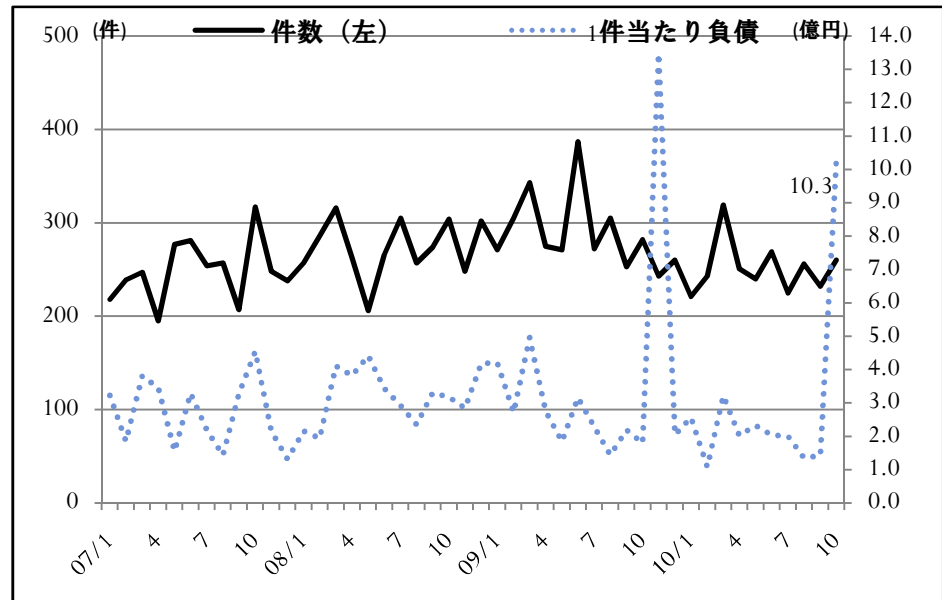
倒産件数前年同月比・負債総額の推移（10年10月まで）



(出所) 帝国データバンク

- ・ 2010年10月の近畿の倒産件数は260件。
- ・ 近畿の負債総額は2,668億円
(前年同月比+427.9%、前月比+715.9%)。
- ・ 全国の倒産件数は960件(前年同月比▲10.3%)。
全国の負債総額は、5,020億円(前年同月比+99.7%)。

近畿の倒産件数と1件当たり負債額の推移



(出所) 帝国データバンク

- ・ 10月の近畿の倒産件数は、前年同月比▲7.8%と、14カ月連続で前年同月を下回る。
- ・ 負債総額は5ヶ月ぶりに前年を上回り、過去2番目の水準。
- ・ 1件当たり負債額は10.3億円。
- ・ 倒産件数は減少傾向かつ、中小零細企業の倒産割合が高水準であるが、9月、10月は、資本金1億円以上の企業の倒産が目立った。

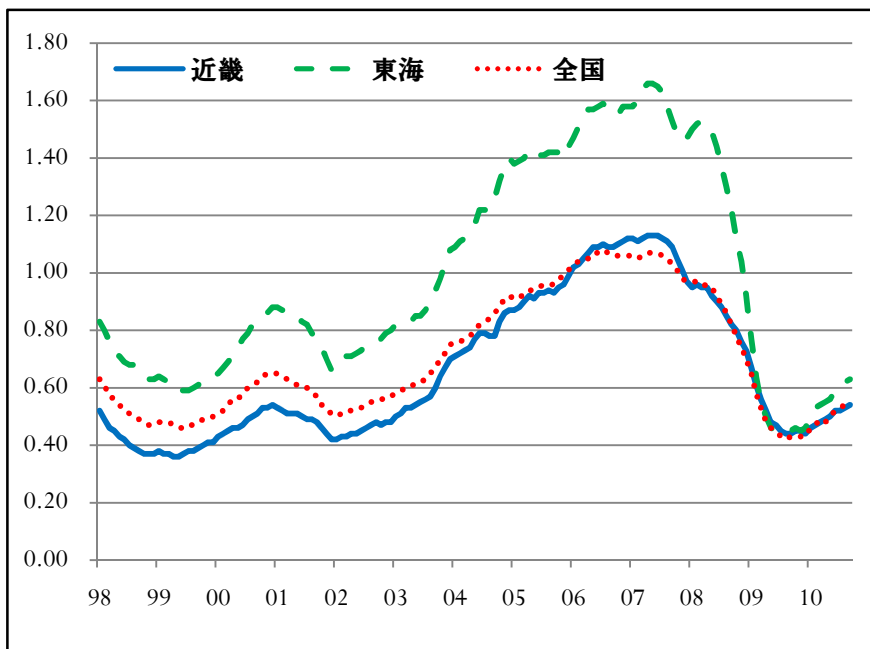
2010年10月以降の近畿の大型倒産

| 10月 | 倒産会社名 | 所在地 | 業種 | 負債総額(億円) |
|-----|-------------|-----|--------|----------|
| | 中小企業保証機構(株) | 大阪 | 信用保証機関 | 1,269 |
| | 大和システム(株) | 大阪 | 建物売買 | 633 |
| | (株)京都住研 | 京都 | 不動産売買 | 323 |
| | (株)ウエムラ興発 | 大阪 | 不動産賃貸 | 92 |
| | (株)大巳商店 | 大阪 | 生鮮魚介類卸 | 27 |
| | アイ・エヌ・ティ(株) | 大阪 | 建材卸 | 22 |

(負債総額・億円)

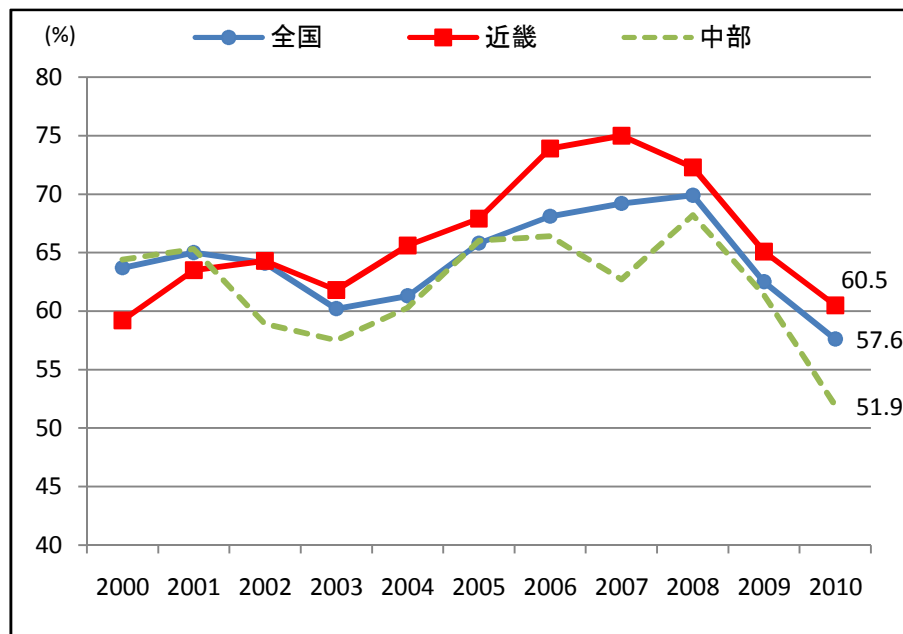
～雇用～

有効求人倍率の推移（季節調整値・2010年9月まで）



(出所) 厚生労働省

大学卒業予定者の就職内定率の推移



(出所) 厚生労働省

地域別有効求人倍率（2010年9月：下段は前月比）

| 全国 | 北海道 | 東北 | 南関東 | 北関東 | 北陸 | 東海 | 近畿 | 中国 | 四国 | 九州 |
|------|-------|------|------|------|-------|------|------|------|------|------|
| 0.55 | 0.43 | 0.45 | 0.55 | 0.59 | 0.63 | 0.63 | 0.54 | 0.68 | 0.68 | 0.46 |
| 0.01 | ▲0.01 | 0.00 | 0.02 | 0.01 | ▲0.01 | 0.01 | 0.01 | 0.02 | 0.03 | 0.00 |

- ・2010年9月の近畿の有効求人倍率は、前月から0.01ポイント上昇の0.54倍。2カ月連続の上昇。
- ・全国は0.55倍で、前月から0.01ポイント上昇。地域別に見ると、北海道・北陸で低下、東北・九州で横ばい。その他の地域は上昇。

大学所在地別内定率
（2010年10月1日現在、カッコ内は前年同期比）

| | | | |
|--------|--------------|-------|--------------|
| 北海道・東北 | 55.6% (▲5.0) | 近畿 | 60.5% (▲4.6) |
| 関東 | 61.0% (▲1.9) | 中国・四国 | 53.0% (▲6.7) |
| 中部 | 51.9% (▲9.5) | 九州 | 51.5% (▲8.2) |

- ・10月1日現在の、2011年3月大学卒業予定者の就職内定率（全国）は57.6%、前年同期比▲4.9ポイント。1996年の統計開始以降最悪となった。特に理系（前年同期比▲10.2ポイント）、女子学生（同▲6.3ポイント）の落ち込みが大きい。
- ・近畿の内定率は60.5%、前年同期比▲4.6ポイント。